



実践クラブ
馬渡 光春 議員

問一 ふるさと納税（寄付金）

Q 地方創生の一環として平成21年から始まった納税制度。①納税状況は？②増額の要因は？③活用要望の内容は？④寄付金の活用実績は？

A ①平成28年度は3万931件で4億5996万円、29年度は2万955件で3億2431万円。8項目別にふるさと応援基金に積み立てている。②ポイント制やワンストップ特例制度の導入の効果。③8項目のうち、「市長お任せ」が多い。④現在は「しまばらん」を活用した地域活性化に使用しているのみ。

Q 返礼品の額及び送料は？また、発送に関するトラブル等は？

A 平成28年度は約2億3220万円、29年度は約1億7219万円。野菜の傷等、苦情が数件あった。

Q 市民の他市への納税状況は？

A 平成28年度に153人で1721万円、平成29年度が239人で2858万円が他市町へ納税。

Q 納税状況や基金の状況、活用予定等、納税者に見えるよう積極的に公表すべきでは？

A 今後は計画的に活用し、寄付者が目的を持ち寄付できるように公表し情報発信に努めたい。

問一 中学校の部活動

Q 部活動の学校教育での位置づけや意義は？

A 生徒の自主的、自発的な参加により行われる活動で、学校教育活動の一環。連帯感の育成や人間関係の形成に役立ち、また体力の保持増進につながる大事な活動である。

Q ①部活動の現状は？②今後の課題は？

A ①86%が加入。市内で2校2部活動が休部状態。②生徒数の減少により部数を見直す必要がある。

Q 国から示された「部活動ガイドライン」の内容と市の対応は？

A 主なものは週2日以上以上の休養日を、平日は長くとも2時間程度、学校の休業日は3時間程度など。市教委が県を参考に方針を作成し、各学校に周知した。

【その他の質問項目】
◇放課後児童保育について



眉山クラブ
松井 大助 議員

問一 高齢者の施設への入所

Q 介護現場の労働力が深刻な状況である。本市の福祉現場の実態を把握する必要がある。

①市内全施設の介護職員数は。
②入所者が今後増えると考えられるが、ベッド数は足りているのか。
③介護現場は、雇用面で人気がない。給料の状況は。
④福祉関係で介護に従事している外国人労働者の人数、給料は。

A ①介護職員は平成27年が1002人で、10年後には1150人が必要と見込まれ、115人が不足すると予測。
②半島内の高齢者人口のピークが2020年に到来し、その後は高齢者人口が減少する見込み。ベッドの不足の可能性は少なくなると予測。
③ハローワーク島原管内の社会福祉専門的職業の求職希望賃金が平均16万5714円、求人希望賃金の下限平均が17万2965円で、下回っている。介護サービスの職業の求職希望賃金が平均16万3846円、求人希望賃金の下限平均が14万2804

円で、上回っている。
④介護事業所を調査したところ、外国人労働者は4事業所で17人。給料については金額を教えてもらえず分からない。

問一 まげへつ

Q 鉄砲町の景観を残すための伝統的建造物群の作業が、一向に進まない。このままだと将来、「当時の市政議員は何をしていたのか。」と批判を受けかねない。島原築城400年の取り組みの中でも問題が上がってくると思う。文部科学省の調査は10年ほど前に終了した。その後の進捗は。また、地域の方の賛同、同意はとれているのか。

A この地区において全ての住民の土地・建物に規制がかかることから、何よりも地域住民の合意が必要。

これまで制度の学習会や先進地視察、また、昨年度は各町内会ごとに制度説明を行った。本年6月には地区内の候補物件の所有者等を訪問し、賛同の得られた方から内諾をお願いしている。候補物件は100件を超え、そのうち空き地や空き家もあり、内諾を受けたのは1割程度。権利の承継を含め一人では決められない現状もある。

城下町・島原の中で中心的な武家屋敷通りの町内会には積極的に現状を説明していきたい。